

わさびの効果で防虫～わさびってすごい～

竹村 直起 (株式会社 PRD 防カビ・抗菌事業部)

はじめに

日本古来より親しまれてきた”わさび”。
実は、わさびには抗菌・防カビ・消臭・防虫効果があります。
古くからお刺身やお寿司に使われていた理由。
それは、菌やカビを予防することにより魚の鮮度を維持、
更に消臭効果で魚の嫌なニオイの臭い消しにもなっていたのです。
先人の知恵が、素晴らしいと実感するエピソードですね。



WasaP” (わさびー) とは

株式会社 PRD では、そのわさびの成分の” AITC (アシルからし油) ” をプラスチックの” ポリエチレン ” に練り込む事により、揮発し易いわさびの成分を徐々に放出させる事に成功いたしました。徐放性を付与する事により、持続効果期間を長く、更に程よい量を空間に放出し、わさびの持つ「抗菌・防カビ・消臭・防虫」の4大効果を効率的に得られます。

わさびのツーンとくる匂い (AITC のガス) が「抗菌・防カビ・消臭・防虫」の4大効果を発揮しますので、” 接触面 ” だけではなく、” 空間 ” での効果を演出いたします。
今までに無い「 ” 空間 ” の抗菌・防カビ・消臭・防虫効果」それが弊社製品 「WasaP” (わさびー) 」です。

防虫効果について

AITC は、細胞質や細胞膜のペプチドやタンパク質の OH、NH₂、SH 基と結合し、酵素活性阻害をひきおこします。

特にクエン酸回路に關与する脱水素酵素の活性を阻害して、解糖や呼吸などのエネルギー代謝を阻害します。例えば、貯蔵穀物害虫であるタバコシバンムシやコクゾウムシ、建築物外注のイエシロアリ、アレルギー症状を引き起こすハウスダストとしてのコナヒョウダニなどにも防虫効果が見られます。最近では、アナフィラキシーショックを起こす可能性のある特定外来生物のヒアリに対しても効果が見られる事が分かっています。

代謝阻害のイメージ図

